



# 2023年9月期決算 補足説明資料

2023年12月1日



## エグゼクティブサマリ

### 想定通り

2023/9期決算は新增改築案件の減少から前年比32%営業減益。ただし、ほぼ想定通りの着地

### 減益予想

2024/9期も2期連続の営業減益を予想。コロナ禍時の受注活動停滞の影響発現は否めず、減収見通しが影響

### トータルパックシステム

トータルパックシステム受注から新增改築案件売上へは一定のタイムラグが存在。受注件数は2020/9期より増加に転換済

### 医療DX支援

メディカルトータルソリューション事業ではストックビジネス色濃いIT関連へ注力。医療DX支援へサービスラインナップを拡充



1

## 2023年9月期決算実績



## 2023年9月期経営成績①

- 前期比減収減益。従来見通しに対しては、売上が超過達成となるも、利益は未達。ただし、ほぼ想定の範囲内と認識
- 減益の主因は主力のメディカルトータルソリューション事業における新增改築案件の減少。
- 遠隔画像診断サービス事業の売上は堅調に推移。ただし、委託費上昇により利益面では苦戦。給食事業は売上・利益とも反転

### 経営成績の推移

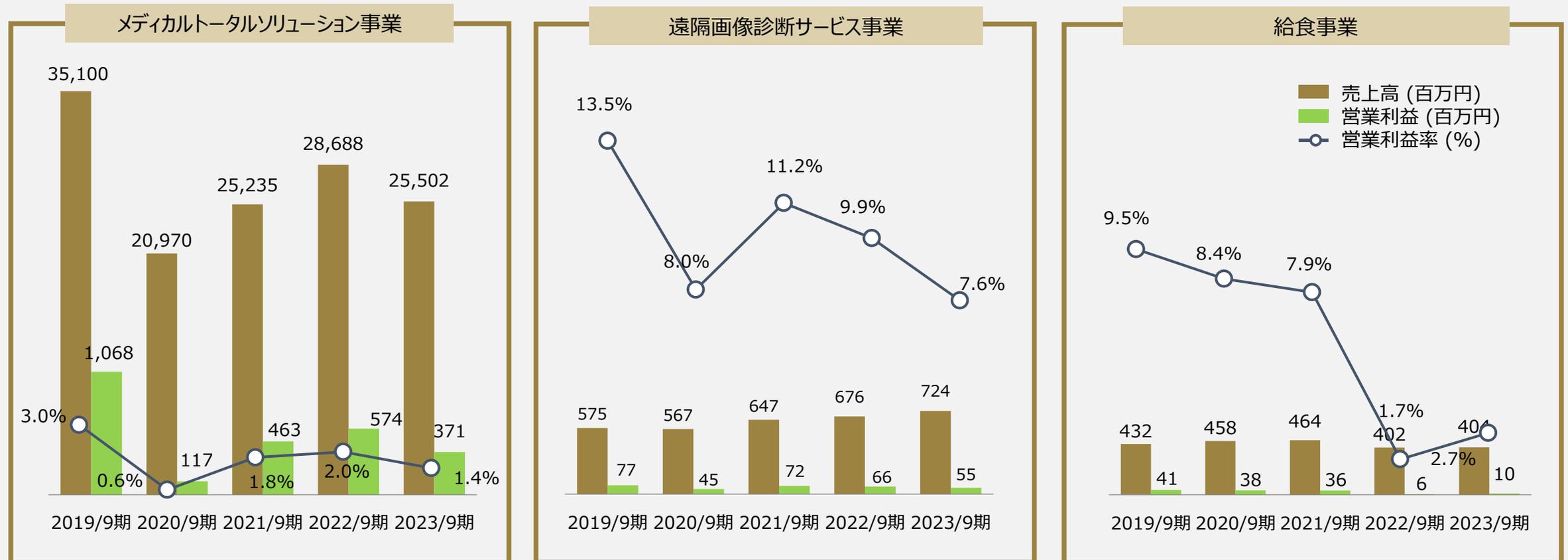
(百万円)	2021/9期 実績	2022/9期 実績	2023/9期		比較		
			期初見通し	実績	前年比 増減率	前年比 差異	期初見通し 差異
<b>売上高</b>	<b>26,347</b>	<b>29,767</b>	<b>25,000</b>	<b>26,632</b>	<b>▲10.5%</b>	<b>▲3,135</b>	<b>+1,632</b>
メディカルトータルソリューション	25,235	28,688	24,000	25,502	▲11.1%	▲3,185	+1,502
遠隔画像診断サービス	647	676	600	724	+7.1%	+48	+124
給食	464	402	400	404	+0.5%	+1	+4
<b>営業利益</b>	<b>576</b>	<b>650</b>	<b>550</b>	<b>440</b>	<b>▲32.4%</b>	<b>▲210</b>	<b>▲109</b>
メディカルトータルソリューション	463	574	480	371	▲35.4%	▲203	▲108
遠隔画像診断サービス	72	66	60	55	▲16.8%	▲11	▲4
給食	36	6	10	10	+60.0%	+4	+0
調整	3	2	0	2	▲14.2%	▲0	+2
<b>経常利益</b>	<b>595</b>	<b>709</b>	<b>550</b>	<b>431</b>	<b>▲39.2%</b>	<b>▲277</b>	<b>▲118</b>
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>390</b>	<b>437</b>	<b>360</b>	<b>271</b>	<b>▲37.9%</b>	<b>▲165</b>	<b>▲88</b>



## セグメント別業績推移

- メディカルトータルソリューション事業は調整局面。減収影響に加え、対面営業増加による費用負担もあり、営業利益率低下
- 遠隔画像診断サービス事業は売上堅調ながら、委託費の単価上昇、設備投資に伴う償却負担増などで利益率は苦戦
- 給食事業は売上・利益ともに反転。価格の見直しなどが収益改善に奏功

### 経営成績の推移





## 2023年9月期経営成績②

- 4Qは大型案件の売上が集中したことに伴い、対前年同期比、対3Q比いずれも増収増益
- ただし、利益面では厳しい案件が主体となったことで、利益率は低水準で推移

### 経営成績の推移

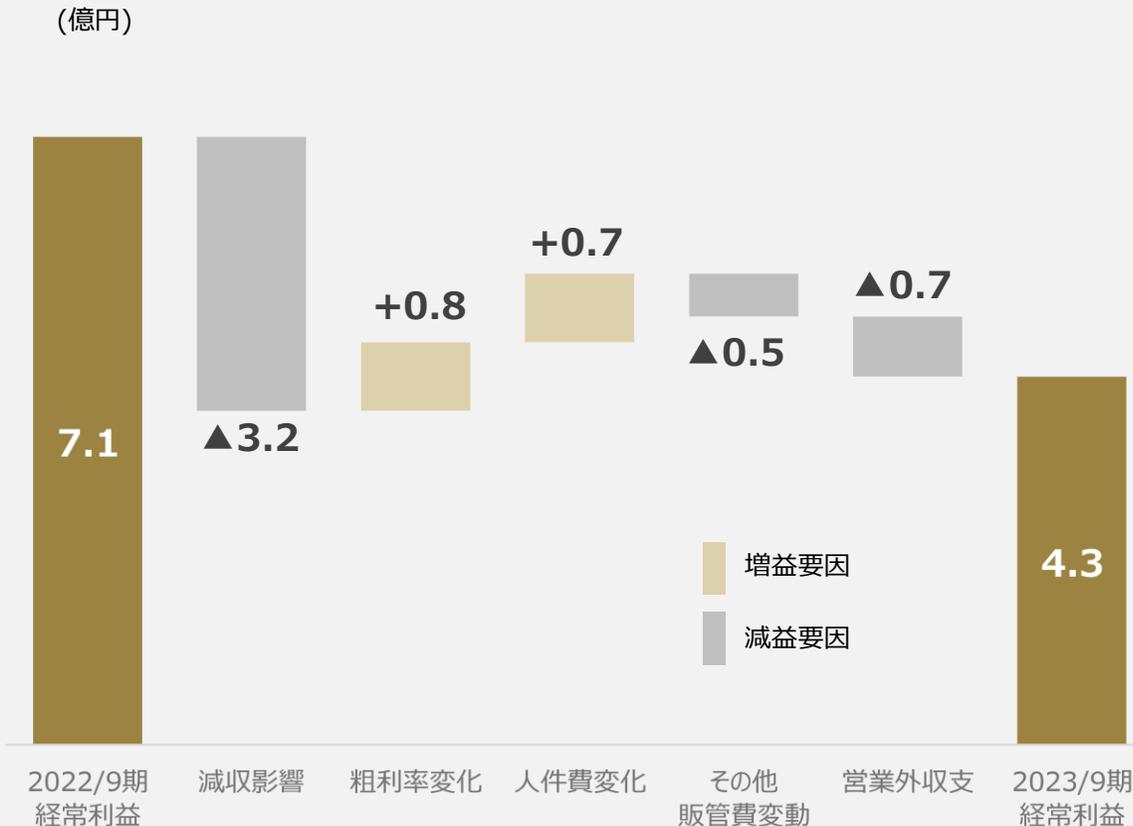
(百万円)	2022/9期				2023/9期				前年比 差異
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
売上高	10,678	8,078	6,438	4,571	4,936	6,725	5,012	9,957	+5,385
メディカルトータルソリューション	10,404	7,821	6,169	4,293	4,650	6,444	4,733	9,674	+5,380
遠隔画像診断サービス	172	159	171	173	180	181	178	184	+11
給食	100	98	98	105	105	99	100	99	▲5
営業利益	529	241	114	▲235	▲11	274	74	102	+338
メディカルトータルソリューション	499	226	97	▲247	▲34	253	58	94	+341
遠隔画像診断サービス	26	14	15	10	20	18	11	6	▲4
給食	2	1	1	1	1	2	4	2	+0
調整	0	0	0	0	0	0	1	0	+0
営業利益率	5.0%	3.0%	1.8%	▲5.1%	▲0.2%	4.1%	1.5%	1.0%	+6.2pp



## 2023年9月期 経常利益増減益要因分析

- 対前期比で39%経常減益となった最大の要因は、メディカルトータルソリューション事業の売上減少。高い付加価値を供給できる新增改築案件売上は、大型案件の減少もあり、4割減少。営業費用増や営業外収支の悪化も減益要因に
- 一方、採算重視方針に伴って粗利率は着実に改善。前期にあった戦略的意図による低採算案件の消失効果や賞与減などによる人件費の減少も収益下支え要因となるも、上記損益悪化要因の吸収には至らず

### 経常利益増減益分析



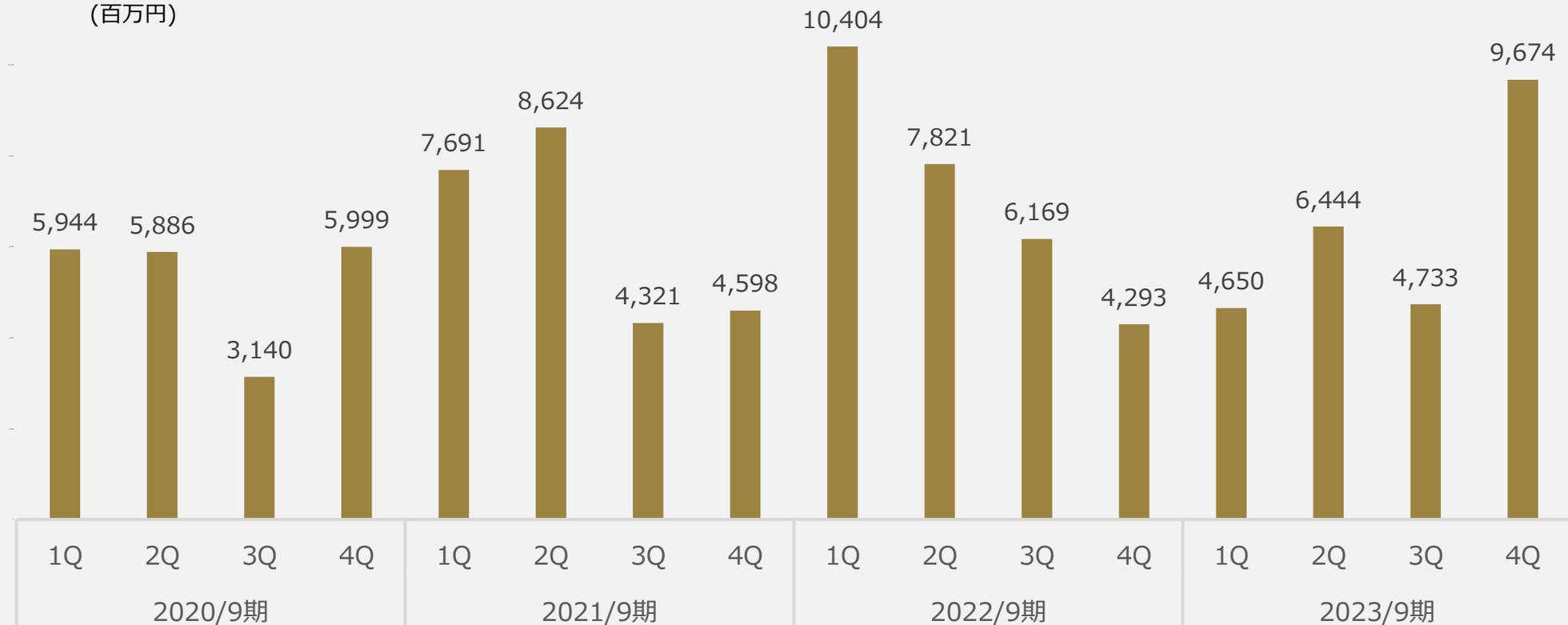
- 減収影響 ▲3.2億円
  - ・メディカルトータルソリューション事業における新增改築案件の売上減少が影響
- 粗利率変化 +0.8億円
  - ・採算重視方針を推進。前期発生 of 戦略的意図による一部低採算案件の影響も消失
- 人件費変化 +0.7億円
  - ・人件費増 ▲0.2億円
  - ・賞与引当金減少他 +0.6億円
- その他販管費変動 ▲0.5億円
  - ・支払手数料増 ▲0.2億円
  - ・交際費/交通費 ▲0.4億円
- 営業外収支 ▲0.7億円
  - ・保険解約戻入金減少 ▲0.5億円
  - ・コミットメントライン設定手数料 ▲0.2億円



## メディカルトータルソリューション事業売上推移

- 主力のメディカルトータルソリューション事業の売上は、狩猟型ビジネスの特性もあり、ボラティリティが大
- 特に四半期で見れば、案件計上のタイミングが大きく影響する傾向は否めず。実際、今4Qは案件売上が集中

### メディカルトータルソリューション事業売上推移

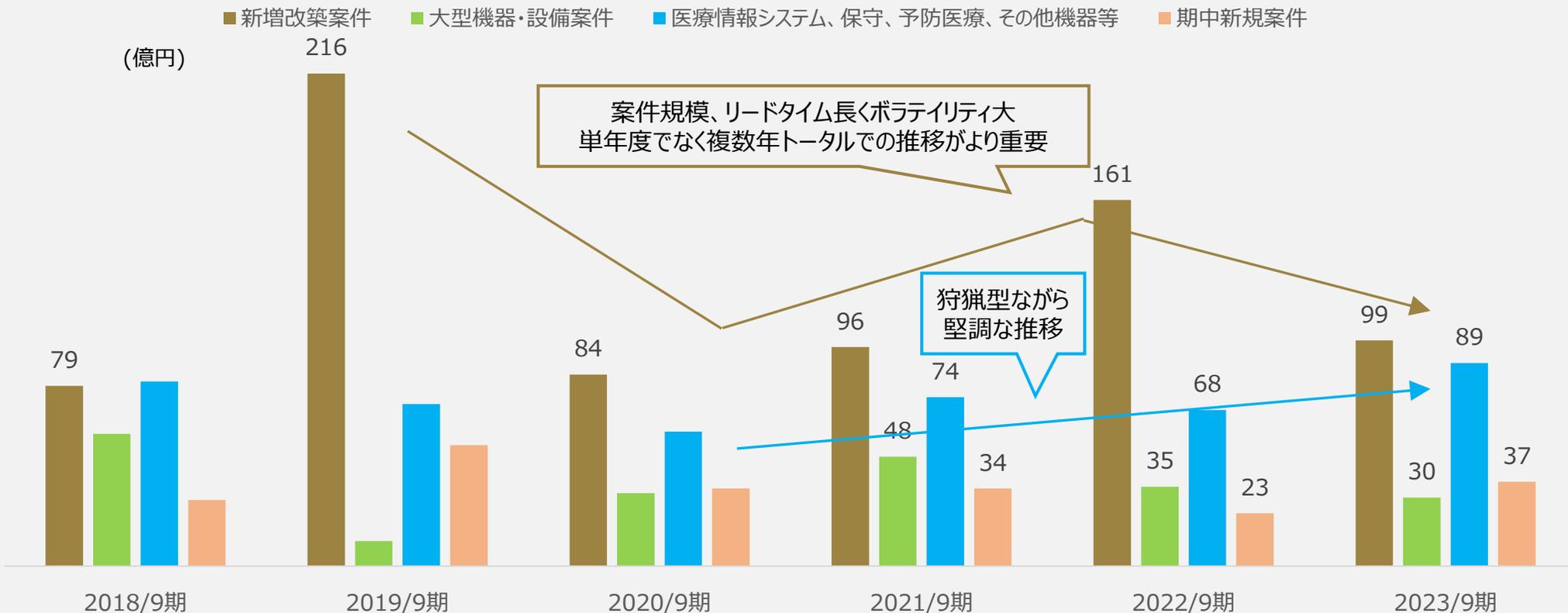




# メディカルトータルソリューション事業売上内訳推移

- メディカルトータルソリューション事業のうち、狩猟型ビジネスの中心を成す新增改築案件の売上は件数減から減少
- 一方、注力中のシステム・保守・予防医療などの領域は、比較的底堅く推移。狩猟型に変わりはないものの、よりストック型ビジネスの色濃いIT関連や予防医療関連が着実に伸長

## メディカルトータルソリューション事業売上内訳



注：分類再集計により2022/9期実績数値を遡及修正



## 2023年9月期貸借対照表

- 総資産は拡大。ただし、これは4Qの売上集中に伴って債権債務が両建てで計上されたことによるもの。今後は相殺解消される見通し
- 前期末でも前渡金/前受金が両建て計上となっていたが（借方・貸方とも「その他」にてカウント）、これは既に解消済
- 期末の自己資本比率は37.9%。実質無借金経営を継続しており、期末のネットキャッシュは55億円

### 財政状態の推移

(百万円)	2021/9期	2022/9期	2023/9期	前期末比差異
<b>流動資産</b>	<b>11,755</b>	<b>12,232</b>	<b>13,508</b>	<b>+1,276</b>
現預金	5,408	5,480	5,537	+57
受取手形・売掛金/契約資産	4,820	4,360	7,796	+3,436
棚卸資産	188	24	21	▲2
その他	1,337	2,368	153	▲2,214
貸倒引当金	▲0	▲0	▲1	▲1
<b>固定資産</b>	<b>1,209</b>	<b>1,235</b>	<b>1,185</b>	<b>▲50</b>
<b>総資産</b>	<b>12,964</b>	<b>13,468</b>	<b>14,693</b>	<b>+1,225</b>
<b>負債</b>	<b>7,805</b>	<b>7,930</b>	<b>8,969</b>	<b>+1,039</b>
買掛金	4,890	3,960	7,620	+3,659
有利子負債	127	92	—	▲92
その他	2,788	3,876	1,349	▲2,527
<b>純資産</b>	<b>5,159</b>	<b>5,537</b>	<b>5,724</b>	<b>+186</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>12,964</b>	<b>13,468</b>	<b>14,693</b>	<b>+1,225</b>



## 2023年9月期キャッシュフロー

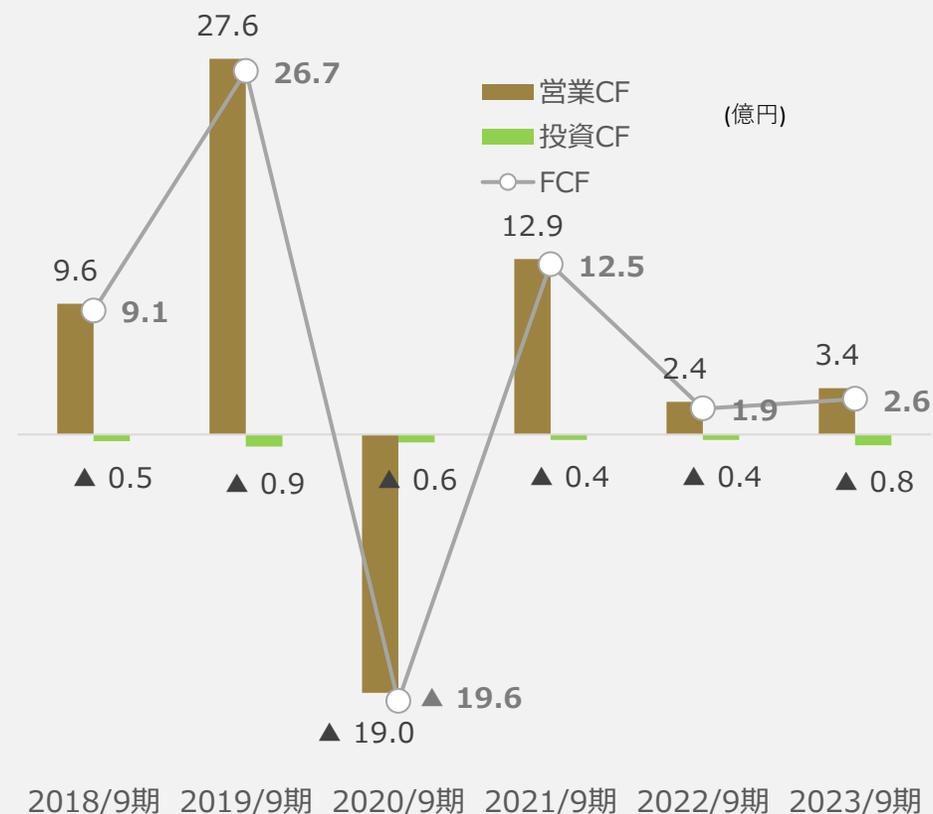
- 営業CFは対前期比で増加。税前当期純利益は減少したものの、債権債務関連の運転資金負担が緩和した
- 投資CFはIT関連投資などが増加。FCFは3期連続で黒字を維持

### キャッシュ・フローの状況の推移

(百万円)	2021/9期	2022/9期	2023/9期
営業CF	1,298	242	<b>341</b>
税前当期純利益	594	689	<b>431</b>
売上債権/仕入債務増減	439	▲469	<b>223</b>
その他	263	22	<b>▲313</b>
投資CF	▲42	▲49	<b>▲82</b>
FCF*	1,255	192	<b>259</b>
財務CF	▲298	▲120	<b>▲202</b>
有利子負債の純増減	▲210	▲36	<b>▲94</b>
株式の発行による収入	—	—	—
その他	▲87	▲84	<b>▲108</b>

\* FCF=営業CF+投資CF で算出

### キャッシュフローの推移





2

## 2024年9月期決算見通し



## 2024年9月期業績見通し

- 2024/9期は2期連続の減収減益を想定。主力のメディカルトータルソリューション事業はコロナ禍での受注活動停滞の影響で減収見込み。遠隔画像診断サービス事業は売上順調ながら、読影委託単価の上昇や設備投資による償却増が利益を圧迫する見通し
- 想定営業利益率はほぼ横ばいの1.7%。採算重視方針に伴って粗利率の改善を進めるものの、付加価値の高い新增改築案件の減少でその効果は大幅に減殺となる見通し

### 経営成績の推移

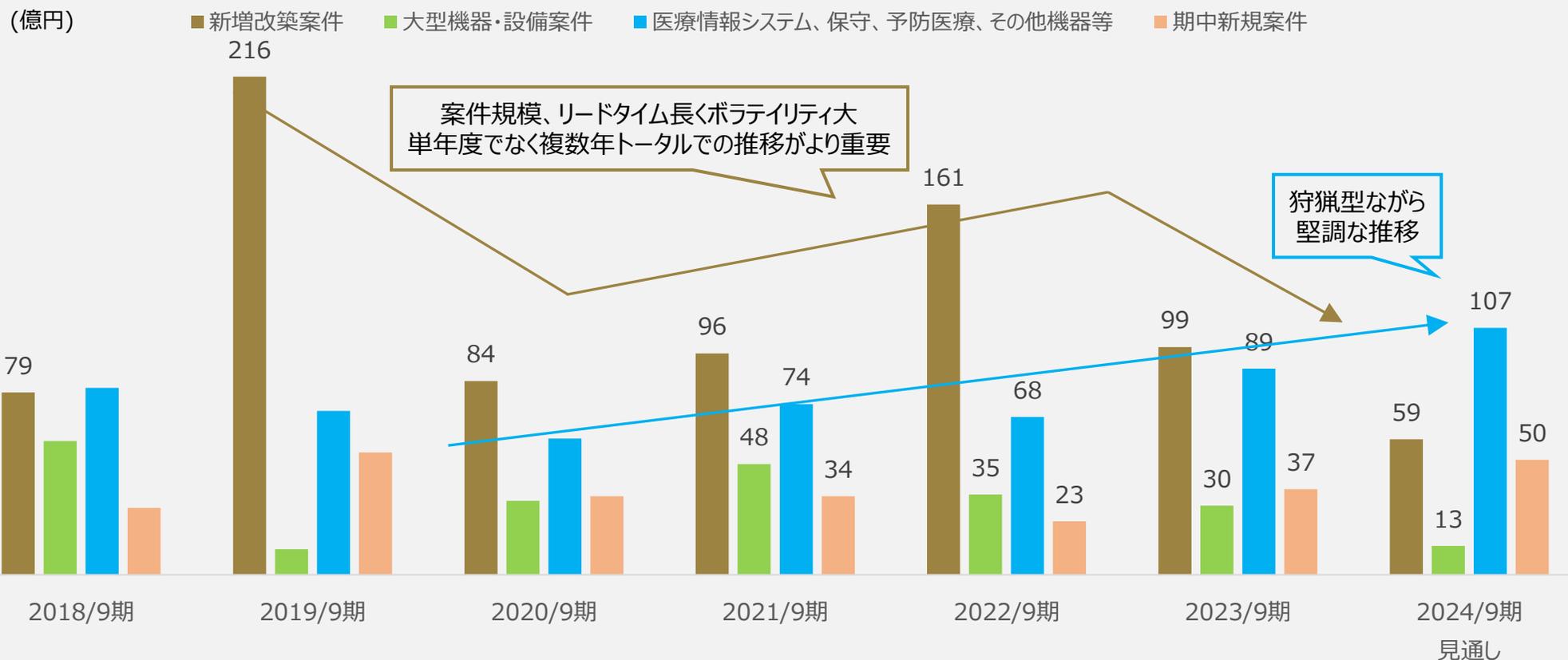
(百万円)	2021/9期 実績	2022/9期 実績	2023/9期 実績	2024/9期 見通し	比較	
					前年比 増減率	前年比 差異
<b>売上高</b>	<b>26,347</b>	<b>29,767</b>	<b>26,632</b>	<b>24,000</b>	<b>▲9.9%</b>	<b>▲2,632</b>
メディカルトータルソリューション	25,235	28,688	25,502	22,848	▲10.4%	▲2,654
遠隔画像診断サービス	647	676	724	738	+1.9%	+13
給食	464	402	404	413	+2.1%	+8
<b>営業利益</b>	<b>576</b>	<b>650</b>	<b>440</b>	<b>400</b>	<b>▲9.1%</b>	<b>▲40</b>
メディカルトータルソリューション	463	574	371	344	▲7.1%	▲26
遠隔画像診断サービス	72	66	55	48	▲13.1%	▲7
給食	36	6	10	5	▲50.7%	▲5
調整	3	2	2	1	▲37.4%	▲0
<b>経常利益</b>	<b>595</b>	<b>709</b>	<b>431</b>	<b>400</b>	<b>▲7.3%</b>	<b>▲31</b>
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>390</b>	<b>437</b>	<b>271</b>	<b>260</b>	<b>▲4.2%</b>	<b>▲11</b>



## メディカルトータルソリューション事業 売上内訳推移

- メディカルトータルソリューション事業の売上内訳では、**新增改築案件の売上減少が継続する見通し。営業制約を受けたコロナ禍の受注停滞の影響が発現してくる見通し**
- 一方、**医療情報システム/保守/予防医療などIT展開イニシアティブを担う領域の売上は拡大継続。通期でもメディカルトータルソリューション事業では最大の売上貢献領域になると想定**

### メディカルトータルソリューション事業売上内訳



C注：分類再集計により2022/9期実績数値を遡及修正



## 新增改築案件 予想前提

14

- 2024/9期の新增改築案件の売上想定は前期比4割減の59億円となる見通し。60億円を割り込むのは2017/9期以来初
- 新規案件は当面小規模のものが中心となり、件数ベースでも前期比4件の減少を見込む。特に10億円超の大型案件は現時点で1件のみを想定

### メディカルトータルソリューション事業における病院新增改築案件向け医療機器一括販売の推移

(百万円)		2021/9期	2022/9期	2023/9期	2024/9期 見通し	前期対比
20億円以上	売上高	4,739	9,877	2,296	3,088	+792
	件数	2	3	1	1	±0
	平均単価	2,369	3,292	2,296	3,088	+792
10億円以上	売上高	1,476	3,995	3,594	-	▲3,594
	件数	1	3	3	-	▲3
	平均単価	1,476	1,332	1,198	-	▲1,198
10億円未満	売上高	3,395	2,180	3,984	2,782	▲1,202
	件数	11	6	13	12	▲1
	平均単価	308	363	306	231	▲75
合計	売上高	9,611	16,054	9,874	5,870	▲4,004
	件数	14	12	17	13	▲4
	平均単価	686	1,338	580	451	▲129
事業売上に占める一括販売比率		38.1%	56.0%	38.7%	25.7%	▲13.0pt

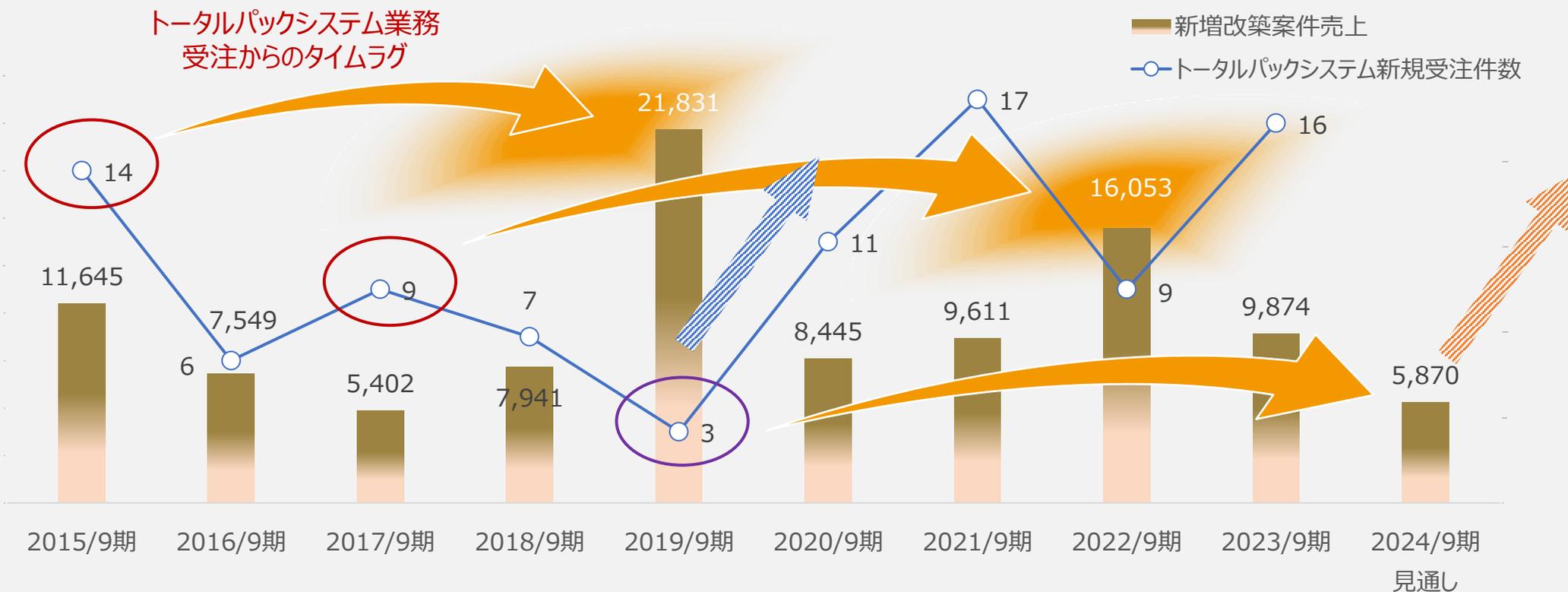


## 新增改築案件の先行指標

- 過去10期を見ると、トータルパックシステム受注が数期のタイムラグを経て新增改築売上に反映される傾向がうかがえる
- この傾向に変化がないとすれば、2020/9期よりトータルパックシステム受注件数は増加に転じており、新增改築案件の売上也再拡大局面を迎える可能性は高いと期待

### メディカルトータルソリューション事業とトータルパックシステム受注件数との関係

(百万円)



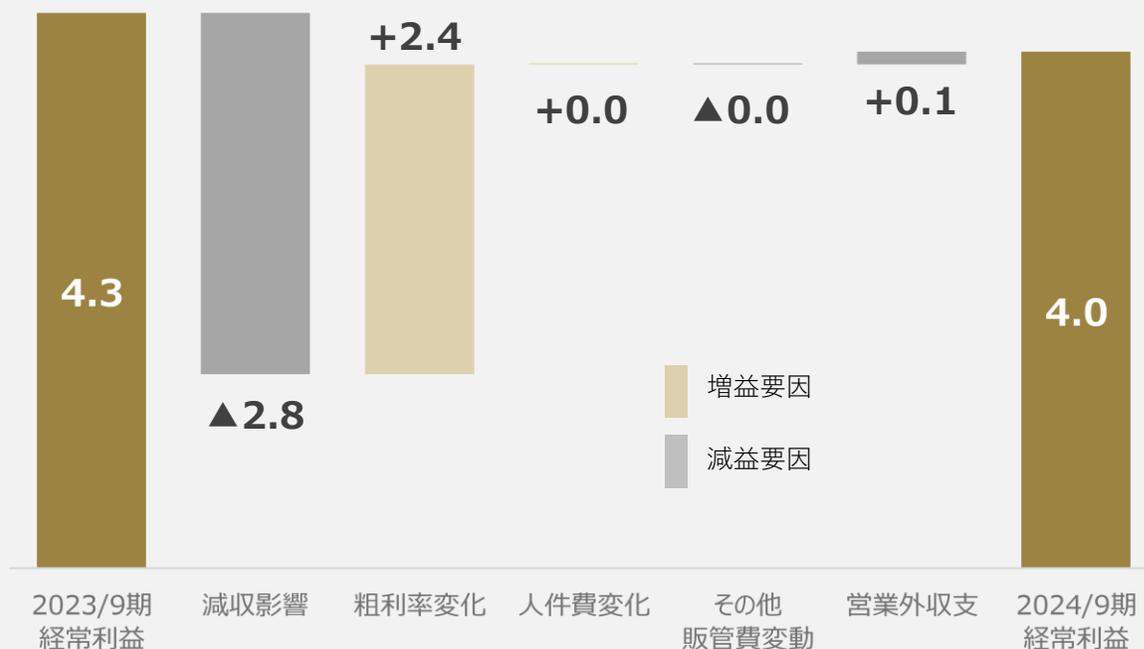


## 2024年9月期想定増減益分析

- 減益となる主たる要因は、引き続きメディカルトータルソリューション事業を中心とした売上の減少。深掘営業の追求によって粗利率の改善なども継続的に寄与するものの、減収影響はカバーできないと想定
- コスト面では従業員数の増加はあるものの、人件費トータルではほぼ横ばいを見込む。営業外収支では前期に計上したコミットメントライン設定手数料の消失が寄与

### 経常利益増減益分析

(億円)



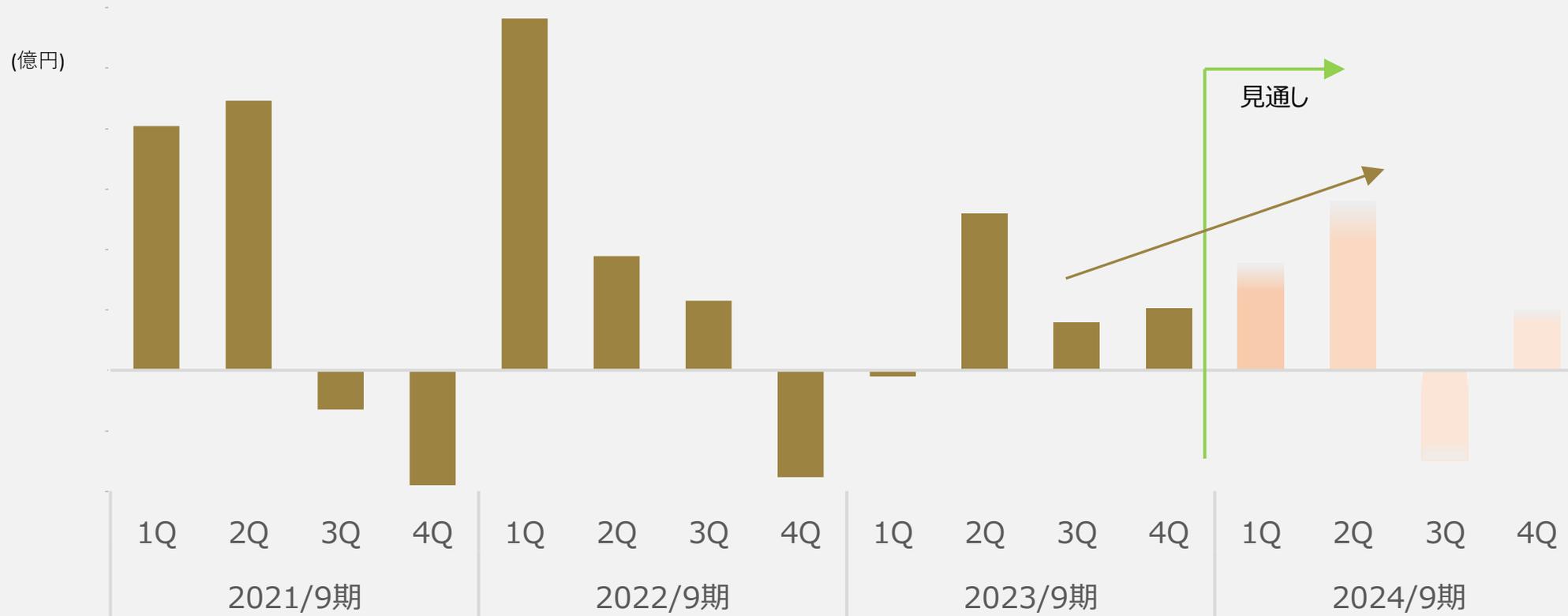
- 減収影響 ▲2.8億円
  - ・メディカルトータルソリューション事業の減収が影響
  - ・ただし、ストック的ビジネスの積上げは着実に伸長
- 粗利率変化 +2.4億円
  - ・深掘営業追求に伴う付加価値増を想定
  - ・ストック的ビジネス増による構成変化
- 営業外収支変動 +0.1億円
  - ・コミットメントライン設定手数料減少 +0.2億円



## 2024年9月期四半期別経常利益想定

- 四半期別には、2Qまでは新增改築案件の大型案件の売上計上などから利益改善を想定するも、3Q以降は大型案件の売上計上はなく、利益の減少を想定
- ただし、こういった狩猟型モデルにつきものの業績変動を緩和すべく、医療情報システム/保守/予防医療などの拡販を急ぐ方針

### 四半期別経常利益の推移





## 配当方針

18

- 2023/9期は配当据置きの年50円配を予定。配当性向は36.1%。目途とする配当性向も従来の20%程度から20～30%に引上げ。当期の配当性向はこの新しい目途も上回るが、安定配当としての位置付けを重視
- 2024/9期も、現業績見通しを前提に、配当据置きを計画。配当性向は37%まで上昇するが、こちらも安定配当という原則を重視

### <1株当たり情報の推移>

(円)	2021/9期	2022/9期	2023/9期 予定	2024/9期	
				計画	前期比差異
1株当たり当期純利益	199.92	222.90	138.37	132.60	▲5.77
1株当たり配当金	40.00	50.00	50.00	50.00	±0.00
配当性向	20.0%	22.4%	36.1%	37.7%	+1.6pt

(注) 配当性向は、1株当たり配当額/1株当たり当期純利益で算出



3

# トピックス



# トピックス

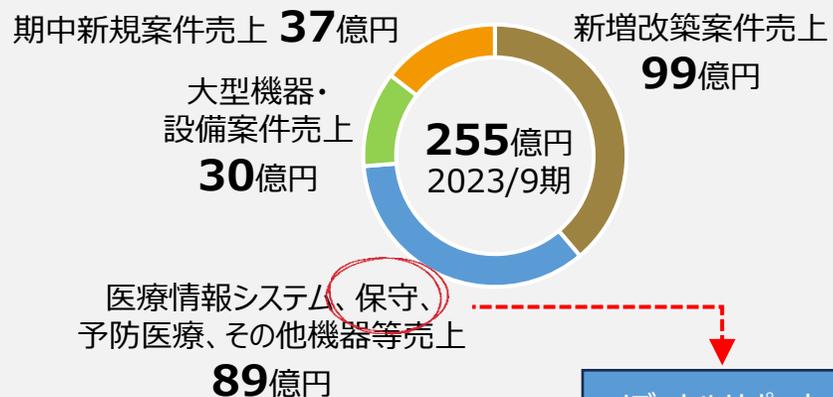
- 1 **一括保守業務 営業強化**
- 2 **医療DX支援**
- 3 **金融資産の積極活用**
- 4 **資本コストや株価を意識した経営**



# トピックス1：一括保守業務 営業強化

2023/10 一括保守業務 営業加速に向けて組織改組

## メディカルトータルソリューション事業売上



メディカルサポート  
エンジニアリング

SE部隊

営業部隊

これまで；**新增改築案件獲得のためのサブ的位置付け**

納入済機器のメンテナンスを販売元としてサポート  
ターゲット：機器納入済み病院など

これから；**営業部隊を設置。一括保守業務獲得を担う  
フロント部門と認識**

一括保守業務の受注拡大  
ターゲット：新增改築予定のまだない病院にも  
アプローチ

さらに；**一括保守を入口に病院の新たなニーズを発掘  
・獲得**



## トピックス2：医療DX支援①

### 医療現場の喫緊の問題点

- 看護師の慢性的不足
- 医師の長時間労働 2024/4～ 医師の時間外労働時間の上限変更



労働生産性の改善ニーズ大



### IT展開イニシアティブ関連製品により、病院運営のDX化を支援

IT展開イニシアティブ  
関連売上



医療情報システム/保守/  
予防医療/その他機器売上  
2023/9期 **89億円**

#### 既存製品群



#### BEAR-D2

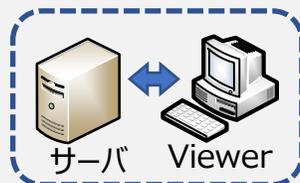
iPadを使用した診断  
情報入力支援アプリ



#### MIND PACS

放射線画像の管  
理・運営システム

#### MPVS\*



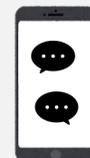
電子カルテに付加価値  
を加えた関連システム

#### 新規投入製品群



#### BEAR-DX

病院外からの  
Web問診アプリ



#### 院内コミュニケーション支援ツール

PHSに代わる新たな院内  
コミュニケーションツール

\*MPVS : MIND Portal View System



## トピックス2：医療DX支援② 新規投入製品群

新規投入製品群 = 従来型の「医療機器商社」の枠を超える布石 として位置づけ

ビジネスモデル：アカウント/端末毎に定額サービス（+従量課金型）を展開

対象市場：全国の病院 約8,000院



### BEAR-DX

病院外からのアクセスも可能なWeb問診アプリ  
サービスは既にローンチ済

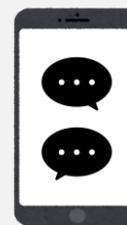
Web問診票



<病院/患者のメリット>

- 患者の待機時間・診察時間の短縮
- 病院内混雑の緩和
- 問診結果のスキャン・転記作業軽減による業務効率化
- 問診データの蓄積によるデータ活用

まずは300院程度のクライアント獲得に注力



### 院内コミュニケーション支援ツール

PHSに代わる新たな院内  
コミュニケーションツール  
2024/9期にトライアル開始予定

<PHSシステムからの転換>

- 院内通信端末としてのPHSは生産減からコスト高に
- 端末のスマホ転換にしたいが、新たな通信システム構築需要が発生

<差別化ポイント>

- 院内SNSやグループウェアアプリの提供による院内コミュニケーションの円滑化が可能
- 情報漏洩対策として、独立したローカルネットワーク内でコミュニケーションを完結
- 用品購買や労務管理システムなど高機能化も可能

全病院への浸透率10%超を目指す



## トピックス3：金融資産の積極活用

活用原資



資金使途



### 資金の一時立て替え機会に活用（商社金融）

- ✓ 新規取引先への多彩な決済手段の提供により、顧客獲得機会の創出と顧客潜在需要の掘り起こし

### 投資戦略に活用

- ✓ M&A・事業提携などへの機動的・迅速な対応

### DX・システム投資

対顧客サービス能力の向上

- ✓ 統合画像システムの構築
- ✓ 診断情報入力アプリ強化
- ✓ 医療DX支援の製品開発

社内体制強化

- ✓ DX化により、管理業務・管理コストを軽減

### 株主還元

配当性向の目途は引上げも検討

現配当性向の目途

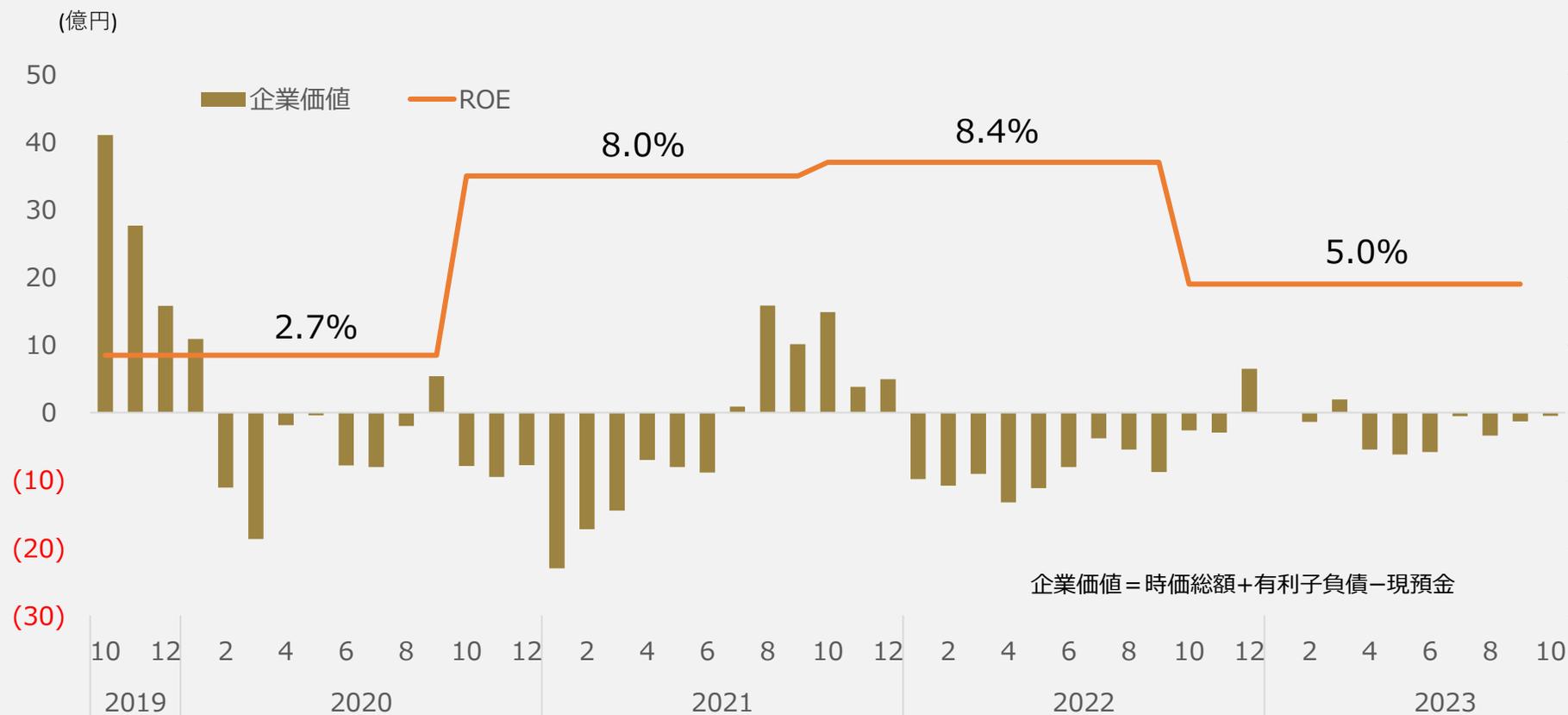
**20~30%**



## トピックス4：資本コストや株価を意識した経営

- ビジネスモデル上、ROEのボラティリティは不可避ながら、現状のROE水準に対して市場の判断する企業価値は相対的に低い水準
- より正しく当社を認識してもらうために、株式市場への発信強化を検討するのに加え、更なる利益率向上、利益水準の安定化に向けての取組みを推進

### 企業価値とROEの推移





# 業績・財務ハイライト

決算年月		2018年9月	2019年9月	2020年9月期	2021年9月期	2022年9月期	2023年9月期
売上高	(千円)	25,715,941	36,109,029	21,996,890	26,347,156	29,767,431	26,632,145
経常利益	(千円)	652,381	1,184,035	207,244	595,939	709,660	431,662
親会社株主に帰属する当期純利益	(千円)	357,645	732,959	120,839	390,983	437,051	271,306
包括利益	(千円)	396,399	735,628	141,111	427,266	467,209	294,367
資本金	(千円)	331,507	331,507	536,169	539,369	539,369	539,369
発行済株式総数(自己株式を含む)	(株)	1,784,000	1,784,000	1,954,400	1,960,800	1,960,800	1,960,800
純資産額	(千円)	3,682,163	4,340,511	4,817,569	5,159,691	5,537,971	5,724,103
総資産額	(千円)	12,875,910	12,814,634	13,414,303	12,964,840	13,468,183	14,693,938
1株当たり純資産額**	(円)	2,016.04	2,376.58	2,408.78	2,567.33	2,746.25	2,839.00
1株当たり配当額	(円)	40.0	40.0	45.0	40.0	50.0	50
1株当たり当期純利益**	(円)	323.64	411.31	62.51	199.92	222.90	138.37
潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	(円)	—	—	61.85	198.33	221.52	137.52
自己資本比率	(%)	27.9	33.0	35.1	38.8	40.0	37.9
自己資本利益率	(%)	11.2	18.7	2.7	8.0	8.4	5.0
配当性向**	(%)	12.4	9.7	72.0	20.0	22.4	36.1
営業活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	962,625	2,764,536	▲1,906,273	1,298,076	242,357	341,555
投資活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	▲52,847	▲91,784	▲63,598	▲42,129	▲49,958	▲82,011
財務活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	203,275	▲213,022	238,372	▲298,007	▲120,931	▲202,311
現金及び現金同等物の期末残高	(千円)	3,702,552	6,162,281	4,430,782	5,388,721	5,460,189	5,517,421
従業員数	(人)	153	155	157	162	175	176
(外、平均臨時雇用者数)	(人)	(38)	(39)	(54)	(58)	(62)	(62)

\*通期換算ベース \*\*2018年9月13日付株式分割(1:200)後の発行済み株式数基準



## ご留意事項

当資料は、当社の現状をご理解いただくことを目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。当資料に記載されている内容は、当資料発表日現在において当社が入手している情報及び合理的であると判断される一定の前提に基づく計画、期待、判断を根拠としております。したがって、実際の業績等は、経済情勢等様々な不確定要素の変動によって、記載の業績予想等と異なる結果になる可能性があります。実際に投資を行う際のご決定は、必ず投資家ご自身の判断に基づきなされるようお願いいたします。

株式会社レオクラン  
経営企画室 IR担当  
TEL : 06-6387-1554  
Email : ir-support@leoclan.co.jp